【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2004-166542(P2004-166542A)
【公開日】平成16年6月17日(2004.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2004-023
【出願番号】特願2002-334162(P2002-334162)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ１２Ｎ　 1/20
　Ｃ０８Ｊ　11/10
　Ｃ１２Ｓ　13/00
【ＦＩ】
　Ｃ１２Ｎ　 1/20　　ＺＢＰＡ
　Ｃ１２Ｎ　 1/20　　Ｆ
　Ｃ０８Ｊ　11/10
　Ｃ１２Ｓ　13/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月9日(2005.3.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ペニバチルス属に属し、プラスチック分解能を有する微生物、または、プラスチック分解能を有するその変異株。
【請求項２】
　ペニバチルス属に属する微生物がペニバチルスアミロリチカスである、請求項１記載の微生物。
【請求項３】
　ペニバチルス属に属する微生物がペニバチルスアミロリチカス TB－13株（受託番号ＦＥＲＭ　Ｐ－１９１０４）である、請求項１記載の微生物。
【請求項４】
　プラスチックが分子構造中にエステル結合を有するものである、請求項１乃至３のいずれか一項に記載の微生物。
【請求項５】
　プラスチックがポリウレタンである、請求項１乃至３のいずれか一項に記載の微生物。
【請求項６】
　プラスチックがポリ乳酸、ポリブチレンサクシネート、ポリブチレンサクシネートーｃｏーアジペート、またはポリエチレンサクシネートである、請求項１乃至３のいずれか一項に記載の微生物。
【請求項７】
　ペニバチルス属に属し、プラスチック分解能を有する微生物またはその変異株をプラスチックと接触させる工程を含む、プラスチックの分解方法。
【請求項８】
　ペニバチルス属に属する微生物がペニバチルス アミロリチカスである、請求項７記載の分解方法。

【請求項９】
ペニバチルス属に属する微生物がペニバチルスアミロリチカス TB－13株（受託番号ＦＥＲＭ　Ｐ－１９１０４）である、請求項７記載の分解方法。
【請求項１０】
プラスチックがポリウレタンである、請求項７乃至９のいずれか一項に記載の分解方法。
【請求項１１】
プラスチックが分子構造中にエステル結合を有するものである、請求項７乃至９のいずれか一項に記載の分解方法。
【請求項１２】
プラスチックがポリ乳酸、ポリブチレンサクシネート、ポリブチレンサクシネート－ｃｏ－アジペート、またはポリエチレンサクシネートである、請求項７乃至９のいずれか一項に記載の分解方法。